
あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送ってみた。

あんぎゃーす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送ってみた。

【Nコード】

N1050R

【作者名】

あんぎゃーす

【あらすじ】

（この作品はKの執筆です。）

K：最近アニメを見れないから書くことが出来ない…。

腹いせにあんぎゃーすにチート能力つけて咲の世界に飛ばしてみた。

あ…え、私が何をしろと？

K：一時の気の迷いです、はい。あんぎゃーすが麻雀するだけの話です。

明らかにおかしいもの以外は全て実際にあんぎゃーすや私、友人達

が打ったことのあるものです。
クオリティに期待してはいけません。

どうしてこうなった（前書き）

一二三四五六七八九（漢数字）がマンズ。

????????がピンズ。

????????（ローマ数字）がソウズ。

東西南北白發中が字牌になってます。

初めて出た麻雀用語は、多すぎなければ後書きで解説します。

どうしてこうなった

(……どうしてこうなった……)

今の私が最初に思ったのは、そのたった一つであった。

(……どうしてこうなった……)

いつ何度考えても、常にその一言が頭の中を回っていた。

本名を明かすことは出来ないが、私はネット……特にとある小説サイトでは「あんぎゃーす」と名乗っていた。

唐突だが、どうやら私は身体が幼児退行してしまったらしい。

死んだのかどうかは不明だが、とりあえず周りの光景に見覚えは無い。

この身体を産んで育てている(と思われる)両親も、「私」の両親とは違う。

…うーん、あれ？所謂「転生？」

別に私、死んでないはずなんだけどなあ。

…まあ、一時の夢だと思うでしょう。

夢なら、そのうち覚めるだろう。

これは…一時の故蝶の夢……

……だと思っただけだなあ。

早いもので、この身体で育つてもう四年になる。

流石に一年もすればこれが夢で無く、自分にとっての「現実」だとわかる。

死んだのかどうかは相変わらず不明だが、とにかく今現在肉体年齢六歳のこの身体こそが今の「私」だと理解している。

あいつらとは仲も良かったんだけどなあ。

「もう会えないだろうな……」

「ん？どしたのコウちゃん？」

「ん、何でも無いよお母さん」

新たな（と言えはいいのだろうか？）私の母。

もりのめぐみ
森野恵。

基本的に主婦で、公務員であるもりのなぎさ森野渚と夫婦。

父は学校の先生。

結構評判の良い先生らしい。

そして、二人とも麻雀が好き。

私も麻雀は好きだし、何回か会った親戚も麻雀好き。

だから何回か混ぜてもらって打ったこともある。

六歳の少女が麻雀打つことに対して何も思うことは無いのか……まあいいか。

二人名前が気になった子がいたが、まあそれは後で触れるでしょう。

コウというのは私の名前。

森野^{もりの}昂美^{いつみ}、女性としては変な名前だと思いが気にしない。

兄弟姉妹はいないが、親戚付き合いも仲は良好。

特に竹井家と染谷家との仲は、麻雀が多いせいかなりのもの。

……そう、竹井家に染谷家なのだ。

勘の良い方はわかるだろうか？

その家には同年代の娘がいる。

竹井久と、染谷まこ。

つまり、「咲 - s a k i -」。これが、今私のいる世界だ。

ぶっちゃけた話、私は咲自体はあまり知らないから問題無いといえ
ば無いのであるが。

まあなってしまったものは仕方ない、適当に気楽に過ごして行こう。

麻雀の腕には少し覚えがあるし。

そう思っていた時期が私にもありました。

事の始まりは私が小学校に入ってから、父が仕事で母が何かの用事
で家に誰もいなくなった時。

小学校も休みだし、スポーツ等が好きでも無い私は外で遊ぶという
ことも無い。

そもそも精神年齢があれなので、なんか、こう…ねえ？

とはいえ、一人で家にいると暇なのだ。

なまじ精神年齢が高いので、一人で遊ぶようなものも無い。

……気がつけば、パソコンをつけてネット麻雀を始めていた。

なぜだろうか、この世界にしていると何気なく麻雀をやりたくなってし
まう。

と、いう訳でネット対局。

んーと…「のどっち」さん、「いんひー」さん、「クラリネット」さん対局お願いします。

えーと…あー私はラス親か。

半荘戦だし私にはあんまり関係ないけど。

それにしても「のどっち」ってなんかで聞いたような…と、配牌配牌…。

二三四四六七?????北北

自風の北が対子だから平和と断公九がつかない、上がれるけど高得点にならなそうな配牌だね。

ツモがよければ三色も出来るかもしれないけど…いいか、欲張ら無くても。普通の麻雀なんだし。

あ。

「ポン」

つい声に出しちゃうなあ。

北が鳴けたから…?切り。

次のツモは……?か、丁度良いね、?切り。雀頭出来たし順調。こ

れで一尚聴。

他三人も字牌整理…あ、親に東を暗慣された。

このゲームドラは即乗りだからなあ…ドラ表示牌は…西？

ということは…ドラ3確定か。これはラッキー。

さて、私のツモは…おお？

「加慣」

持ってきたのはなんと北。

折角なのでドラ4に。

新ドラ表示牌は…はあ？

「西？」

てことは…確定ドラ8。

この手をあがれば、北ドラ8で倍満確定。

北だけだった安手が、まさかこんな化物になるとは…。

引いてきたのは五。

四切りでテンパイ…まあ、これ以上役の増加は無いだろうし、即
テンでいいかな……

まだ3順だし、流石に皆テンパイは無いでしょ。まだ皆字牌整理の段階だし。

四切り。

今の手は、

二三四五六七?????に、北北北北。

??待ち。出れば良いけど……

ロンなら16000、ツモなら4000・8000か……

次に来たのは……うん？

南……まあ、これはいららないな。

他家もそろそろ纏めて来てるだろうし、南は3枚見えてるしね。

南切り……？捨ててるし、出ないもんかな……。

そして自分のツモ……あらら。

「ツモ！北ドラ8で倍満4000・8000！」

あっさりと？を持ってくる。

これでいんひーさんの親は流れた。

結構好調なスタートだなあ。

さて、自局の私の配牌……。

二三四六七八九？？東西白發中

うーん、酷い配牌だけど希望のある配牌だね。

バラバラの字牌はともかくとして、萬子の並びはいい。

その字牌も、どれかが刻子になれば役牌が確定してるし。

頑張れば混一色一氣通慣役牌だし、狙うかな？

ドラは…表示が九だから一か。

一氣通慣なら絶対必要だし……

第一ツモは…白。

混一色で決まりだね、？落とし。

さて、他の人も役牌が重なってるかな？皆オタ風から落とししていったし。

この東發中は落としにくい……。

次ツモは……ドラの一。

これで一氣通慣まで後一つ。？切り。

「鳴いたか……」

のどっちさんが中を鳴く。

これは嬉しいね、明らかな不要牌を捨てられるようになるし。

のどっちさんは手が早そうだね、??の辺張を落としてる。

捨てたのは白か。じゃあ鳴いておく。

多分ツモっては来ないだろうし。

これで一気通慣も混一色も食い下がりだけど、別に良いよ。中切り。

「ポン！」

またのどっちさんが鳴いたか。しかも今度は東。

これで最低でもW東中で三翻。だから早鳴きか、そりゃ鳴くわ。

待ちは流石に読めないけど、どうなるかな？

ツモったのは？。かぶったな……。

でも流石に手が読めないし、これは保留。安牌の東切り。

西が重なってくれるのが1番だけど…

のどっちさんはツモ切りの？。やっぱり張ってるのかな？

「立直！」

クラリネットさんが立直。捨て牌（北？？八）から見るにタンピン気配。

そして私が引いたのは……西。

保証は無いけど、さっきの倍満ツモで余裕はある。？切り。……当たらないか。

カン五待ちの聴牌。

待ちが悪いけど……あ。

「ロン！混一色一気通貫白ドラ1で満貫の8000点！」

立直したクラリネットさんから出た。これはラッキー。

なんか調子良いな、このゲームにローカル役が入っていれば跳満だったんだけど。

さて、東3局。

親はクラリネットさん。

点数は、

私：49000点

のどっち：21000点

クラリネット：13000点

いんひー：17000点

改めて見るとかなりの点差だね。

まだ2局打っただけなんだけど。

親の役満直撃ならリーチ棒のみになるけど……。

とと、配牌は…

三三四四五五?????白

一盃口が既に完成していて、2尚聴。

ドラは西だから私には関係無いね、南家だし。

第一ツモは……三。

三か……うーん、とりあえず断公九は確定させようか。白切り。

「ポン！」

いんひーさんが白ポン。

とにかく流れを作っておきたいのかな？

のどっちさんはオタ風落とし、クラリネットさんは？切り。クラリネットさんはチャンタ系の決め打ち？

で、私のツモは……またも三。

…これは何だろう？わからん。とりあえず？切り。

……全員オタ風落としか。誰も鳴かないし……。

んで、ツモは……四か、成程ね。

「カン！」

これはもう暗慣の一択だな、ドラは……？。ドラ1確定。

引いてきたのは？。まあこれはいらないし、鳴かれないでしょう。
？切り。

いんひーさんは六、のどつちさんは？、クラリネットさんは？。ま
だ皆少し時間かかりそうだけど……

私のツモは……？。なんか、次々有効牌揃えるね……。？切りで一尚聴。

いんひーさんは六、のどつちさんは？、クラリネットさんは五……こ
れは鳴くべきかな？

…いや、スルーかな。一応まだあるし。

で、自ツモ……は？五！？

「…これは鳴かなくて正解すぎるな……？切り立直！」

これでテンパイ？？待ち。なんか引きが良すぎるんだけど…

そして三順後。

「ツモ！立直ツモ三暗刻三連刻断公九ドラ1裏2で倍満！」

またも倍満。

これでまた4000・8000。

これで点棒は…

私…65000点

のどっち…17000点

いんひー…13000点

クラリネット…50000点

となった。

なんかもう、ここまで運が良いと森夫なみの天和でも出せるような気が…ま、それは無いか。

（この時の私は、これがフラグだとは思っていなかったのだ……）

さて、私の親。

頑張ればこの局で一人飛ばして終わりかもしれないね。

さて、配牌は………

「……………え？」

——一九九九??????

で、ラス牌が？。

つまり……

「……ツモ。天和四暗刻清老頭……親のトリプル役満480000オ
ル……」

……え、これなんて森夫？

どうしてこうなった（後書き）

用語解説

・半荘戦

東一局から東四局、南一局から南四局までの計8局を一回の対局とするルール。

通常の麻雀ではこれが普通。

・配牌

最初に自分の手元に配られる13枚の牌（親は14枚）。基本的にこの中で役を作っていく。

・対子^{トイッ}

同じ牌が手元に2つあること。

麻雀は4面子1雀頭で作るため、対子は雀頭にも面子にもなる割と重要なもの。

・平和^{ヒンフ}

雀頭1つと4つの順子で作る役。1翻。両面待ちのみこの役がつく。頭待ちやカンチャンペンチャン待ちではつかないので注意。

麻雀の中ではとても出来やすい役で、他の役とも絡みやすい。

ただし、雀頭が風牌・三元牌の場合は平和にならないので注意しよう。

初心者はまずこれを覚えよう。

・断公九^{タンヤオ}

公九牌（字牌と1と9）を使わずに作る役。1翻。

これは順子や刻子にこだわる必要も無い上に、作りも簡単。また、

他の役と絡むことも多い。

初心者は（ry

・三元牌

白・發・中のうちのどれかを3枚揃える事。1役。

わかりやすいうえに出来やすいので、初心者は好む。

他の役との兼ね合いが少し難しい難しい。

・ツモ

自分で山から牌を持つてくること。

その後、手牌の中から1枚を捨てる。

これを繰り返して手の中で役を作っていく。

サンショク
・三色

この場合は三色同順。マンス・ソウス・ピンスで同じ順子を作る事。

2翻、食い下がり1翻。

これがチーせずに手牌の中で出来るならその日はかなり調子が良い。

・ポン

自分の手元に対子がありそれを相手が捨てた時に「ポン」と発声することで、それを貰う事が出来る。

ポンした場合手牌から牌を1枚捨て、手元の対子と相手の牌を自分の卓の右側に寄せて晒す。

シャンテン
・尚聴

あといくつ欲しい牌が来れば聴牌出来るか。

（例1）一二三四五六七九？？北北西

この場合、八？？が欲しい牌。

そのうち1牌が来ればテンパイとなるので、1尚聴。

・聴牌 テンパイ

あと一つ有効牌が来れば上がることが出来る状況。

(例2) 一二三四五六七八九?? 北北西

例1に八をツモった状況。

西を切る事でテンパイとなる。

なお、何かしら役が無ければ上がることが出来ない。

・慣 カン

これには三種類ある。

明慣 ミンカン：ポンと同じように、手元に同じ牌が3枚ある時に相手がその牌を出した時にそれを貰う事が出来る。

加慣 カカン：ポンした後にそのポンした牌を持ってきた場合、それを重ねる事が出来る。

暗慣：手牌に同じ牌が3枚あり、そこに4枚目を持つてくると暗慣することが出来る。

カンした場合は4枚の牌を右側に寄せて相手に晒し、使わない山(王牌)から1枚持つてきて、それを含めた手牌の中から1枚を捨てる。

カンをするとドラ表示牌が1枚増える(ルールによっては増えない事も。ルールを確認しよう)。

・ドラ

使わない山(王牌)を1枚めくり(ドラ表示牌)、その次の牌がドラとなる。

例えば一がドラ表示牌の場合は二がドラ。

ドラは1枚で1役となるので、手牌に沢山あると大きな役になる。ただし、ドラ以外に役が無い場合はあがれない。

あくまでもボーナスなので気をつけよう。

・倍満 ばいまん

あがった時、自分の手の役の合計が8ゝ10翻だった場合、倍満となる。

ツモった場合、子なら子4000・親8000、親なら3人に6000ずつ点棒を貰う。

ロンの場合、子なら16000、親なら24000を振った人から貰う。

・混一色 ホンイーソ

手牌を字牌と一種類の数牌で作る役。面前3翻食い下がり2翻。

(例3) 一一二三四五六七八九北北北

この場合は北三枚と四五六、七八九で面子が確定していて一と二が2枚ずつのため、一か二が来ればあがり。

手牌がマンズと字牌で作られているため、これで混一色となる。

・一気通貫 イツキツウカン

同じ種類の一二三、四五六、七八九の順子を揃える事。面前2翻食い下がり1翻。

例2はこれが完成している。

・オタ風

自分の風牌にならない字牌。東場の南家なら西と北。

・W東 ダブルトン

東場の親(東家)が東を刻子にすると、自風牌と場風牌が同時につくので一氣に2役となる。

・立直 リーチ

ポン、チー、ミンカンをせずにテンパイした時に宣言できる。1役。役が無い状態でも、リーチをすれば「立直」という1役がつくので上がることが出来る。

またリーチをかけてあがると、裏ドラといってドラ表示牌の裏の牌をめくり、それもドラ表示牌として扱う。

ドラ表示牌が八で裏ドラ表示牌が？の場合、ドラは九と？となる。

(例4) 六七?????????北北

ドラ表示牌？裏ドラ表示牌西

五八待ちの聴牌でドラが3つあるが、そのドラ？が刻子なので平和はつかず、????と北北のせいで断公九もつかない。

他の役も無いのでこのまま続けるとあがれない。

しかし立直をかけることによって上がることができる。

あがった場合、立直に加えてドラと裏ドラをあわせてドラ5となる。一見「じゃあリーチすればいいのか」とも思えるが、それもリスクが大きい。

リーチをした後は自分の当たり牌以外は全て切らなければならないため、自分の手を変える事が出来ない。

またリーチ後に捨てた牌であがらなかった場合、フリテンといってあがる事が出来ない(ツモはOK)。

マンガン
・満貫

4～5 翻であがった場合、満貫。

子のツモなら子2000・親4000、親のツモなら4000オール。

子のロンなら8000、親のロンなら12000。

ハネマン
・跳満

6～7 翻であがったならなら跳満。

子のツモなら子3000・親6000、親のツモなら6000オール。

子のロンなら12000、親のロンなら18000となる。

えーと…私チート持ち？（前書き）

K：はい、第二話です。

あ：いや、えつと、あの…

K：ん？どしたの？

あ：…『兄妹』は？

K：…アニメ見る時間が無いんです。

あ：書いてる時間はあるのに？

K：お金も無いんです。TSUTAYA高いよあ…

あ：……………。

えーと…私チート持ち？

私の目の前には、とても信じられない画面が写っていた。

何も出来ずに負けたのだ。

順位は、一応2位。

でも - 31000点で2位と言って、誰が信じるんだろう…。

私を負かしたのは「あんぎゃーす」という人。

私だってまだ麻雀を始めたばかりだし、ルールや役は覚えていても打ち方は甘いと思う。

でも、この人はそんな次元じゃなかったんだ。

私の東1局の配牌は、
三四五六七??????西中。

手を進めて行けば断公九平和三色まで見えるいい配牌だった。

クラリネットさんが捨てた北をあんぎゃーすさんに鳴かれても、まだ2巡で鳴くということは高い手にはならないだろうと安心していった。

その安心が崩れ始めたのは、親のいんひーさんが自風場風の東を慣した時だった。

新たなドラ表示牌は西。

つまり、あんぎゃーさんのドラ3。

それだけなら北ドラ3の満貫だ。

そして、あんぎゃーさんの加償。これでドラ4……だと思っていた。

3枚目のドラ表示牌は……西。

つまり、ドラ8。

つまり、倍満。

ありえない、と思った。

西は私の手牌に1枚と河に1枚出ているのだ。

その残りの2枚が両方ともドラ表示牌になって、尚且つそのドラを4枚とも自風となる人が持っているなんて…。

そして。

「ツモ！」

「場風牌、ドラ8、倍満」

鳴いたとはいえ、たつた5巡で倍満。

この人って……。

次局の私の親番。

一二二三三四??西東東白中中。

W東・中の対子に加えてマンスが7牌のドラ2つで、かなりの勝負手。

東と中を鳴ければ、食い下がりとしてもW東中混一ドラ2で跳満。

とりあえずオタ風の西を落とす。

第一ツモは五。?切り。

あんぎゃーすさんが2枚目の?を落とした所で、いんひーさんから中が出たので、これを鳴く。白切りで一尚聴。

あんぎゃーすさんは白を鳴いて中切り。持っていたのか……。

そして、いんひーさんが東を出す。これも鳴いてW東中混一色を確定。?切り。

こっちは既に一二三待ちの三面張。

絶対にこっちの方が早いはず!

あんぎゃーすさんは東切り。また…。

私のツモは?。ノータイムでツモ切り。

さすがに、まだ手は固まってないはず…

「立直！」

クラリネットさんのリーチ…

捨て牌から見るにタンピンの両面待ちリーチ。手が早い…。

それを受け手のあんぎゃーすさんは3枚目の？切り。

ただのミスにしては何かが変だけど…。

いんひーさんは安牌の八切り、私がツモったのは六。

これを二と変えれば、一四七に待ちが変わる。

…効率を考えれば、こっちだろう。二切り。

クラリネットさんが切ったのは、五。私には当たらない。惜しい…

「ロン！」…え？

また、あんぎゃーすさん！？

「白 混一色 一気通貫 ドラ1 満貫」

私と同じマンズの混一色手！？しかもカン五待ちの単騎テンパイが、私の三面張より早かった！？

…親番が流れた。くよくよしても仕方ない。次の配牌は…。

二四???????南西

…良いとは口が裂けても言えない配牌。

カンチャンが多い4尚聴、役は…どうにか断公九、平和がつけばいいくらいだろう。

その局はツモも奮わなかった。

公九牌は消えるが、尚聴数が上がらない。

「立直！」

モタモタしている間に、あんぎゃーさんのリーチ……

「ツモ！」

「立直 ツモ 三暗刻 三連刻 断公九 ドラ3 倍満」

もう、誰もその早さについていけない……！

迎えた東4局。

1位のあんぎゃーさんと2位の私の差は48000点。

かなりの点差…逆転には、直撃なら子の倍満2回…。

…兎にも角にも、あがらない事にはどうしようもない。

配牌は…

四八????白白發發發發中中

…来た、思いもよらないチャンス手！

中が鳴ければ大三元、ツモが寄れば混一色に小三元！

これは、どうにかあがりたい。

私の親番まで回して、どうにか逆転する！

……そう、考えていた時だった。

「ツモ！」

……え？

「天和 四暗刻 清老頭 トリプル役満」

……何か、ありえないものを見てしまった気がする。

<Side 昂美>

…一応、勝つには勝った。

ラストに決めたあれのおかげで、私以外の三人はトビ。

私が1位。それは変わらない。

しかし……何か違和感。

天和なんて、一生に一回起きるかどうかの稀な役。

それに役満が2種類複合するなんて、どうかしてるとしか思えない。

……そういえばあの時。

（森夫なみの天和あがれるかも…いやそれは無いか）

え、何あれが原因だったりするの？

…うーん、ちょっと試してみる？

すぐさまパソコンで起動したのは「麻雀flush」。

とてもシンプルな四人打ち麻雀を打てる、練習には持ってこいだけ
ど楽しくないflushだ。

まあ、今回は楽しさ目当てじゃ無いんだけど。

さて、私は南家か……

対局開始する直前に、頭の中で念じる。

（浩史のような地和…）

配牌は…？

一二三三四??????

…そして、第一ツモは四。つまり…。

「…ツモ。地和」

子の役満は8000・16000。

そして、私の親番。

（森夫の天和……）

配牌は…

一一一二三四五六七八九九

そしてラス牌は一。

「ツモ。天和九連宝燈」

これではつきりした。

「鰻、かあ…」

私はチート能力持ちだ。

それも「野性の闘牌 鰻」という最強にして最凶、そして最狂の部類の。

「本当に、何がどうして、こうなった…」

今日の一句でした。

あのと、同flushで色々実験してみた。

- ・全員分の能力使用可能。
- ・複数人の能力組み合わせは不可能（森夫＋浩史、メカ沢＋マロン等）。
- ・ゴリなど一人で複数の能力を持っている場合、その全てを使用可能かどうか切り替えることが出来る。

…うん、酷いものだ。

とりあえず鰻キャラの能力は全部封印だ、封印。

こんなの使ったら麻雀が楽しくない。

使うこともあるかもしれないが遊びの時だけだ。

普通の対局とかでは使わない。

メカ沢くらいならマシか？そんな訳が無い。

封印封印。

私は普通に麻雀やるだけだ。

さて、そんな事を思った時から早6年。

小学校を卒業し、今は普通の中学校に入学。

ぶっちゃけた話中学高校の勉強程度で苦戦する訳も無いので、さく
さくと進んでいる。

まあ学校では勉強面で目立ちすぎないように少し手を抜いてはいる
のだが。

…勉強面では、ね。

「ん、ツモった。リーチツモ一発断公九平和ドラドラ裏裏……倍満
6000オールね」

「」「うわぁーーーー！」「」

そう、麻雀である。

中学では「大会に出ない」という事を条件に、麻雀部に所属してい
る。

前に言った通りスポーツはそこまで好きじゃ無いし、部活に入らず
帰宅部というのは気が引ける。

困っていた所に、小学校から一緒に上がってきた麻雀友達が「麻雀
部入ろうぜ！」と誘ってきたので、なし崩し的に入ることを決めた
のだ。

大会に出ない理由は、いざって時に鰻能力が発動したら怖いから。

鰻ではどいつもこいつもぶっ飛んだ能力を持っているので、勝手に発動すると酷い目に会うのだ。主に相手が。

なので、能力は使わずに平々凡々と麻雀を打っている。

「ロン。それ高目だよ。面前清一色一気通慣平和一盃口ドラ。親の三倍満36000でトビね」

「またかああー！ー！」

…平々凡々、の筈なんだけどな…。

「いやあー相変わらず強え……」

あがる時は本当高い手ばっかだよなあ……」

「運が良いだけ、悪い時には何もできないしさ。あがる時にあがつかないとね」

実際「悪い時には」は嘘だったりするが。

何故かは知らないがこの世界での麻雀に関して、私はかなりの指運（？）を持っている。

こつちで麻雀を初めてから今まで、意図的または狙ってやった時以外は満貫未満の手を上がったことが無い。

鳴いて食い下がっても最低で満貫が入る。

ツモもかなりのもの。

有効牌も良く入るし、相手の危険牌はあまり引かない。

引いたとしても私の手の中で面子になっってしまう事がよくある。

つまり…あれだ、強いんだ。

まあその辺、運が良い方に傾いている前世の私と同じようなものだけど。

皆は、何故私が大会に出ないのか不思議がっていた。

とりあえず「プレッシャーに弱いから」とか言っておいたけど。

ちなみに私の部内での勝率（TOP率）は、全局あわせてだいたい7割5分である。突っ込むなよ。

ちなみのちなみに、久とまことは別の学校。

まあ家が近い訳でも無かったしね。

元気でやってるかな…

ちなみのついでに、久とまこに麻雀を教えたのは私だったりする。

私が親戚達と打っていたら、興味を持ったのか教えてくれとせがんで来たので教えてやった。

久はオーソドックスな麻雀で、まこは染めるのが好きだった。

まだ麻雀やってるのかな？

夕方の帰り道。

電車を使うほどではないが歩きだとそこそこ遠い為、帰り道は一人である。

自転車通学というのが1つ、帰り道が同じ人がいないというのが1つだ。

まあ流石に寂しいとかは無いかから安心してほしい。

何故もつと近場や電車の圏内にしなかったかつて？

それでも、前世今世ともに女性。

体重とかも少しは気にしているのです。

運動は継続してこそ。

毎日の自転車通学の甲斐あってか、体重やボディスタイルはそこそこ。

巨乳とは言えないがそこそこある胸と、引き締まった腰。

1年なのに、何故か学校での人気は高い。特に女子から。

…バレンタインとか、クリスマスとか、イベントは覚悟しないとなあ…はあ。

そんなこんなで、家まであと半分といった所。

私が通るのは基本的に明るい道や大通り。

アニメや漫画みたいに、人通りの少ない道を通ってさらわれるとかは無い。

…まあ漫画でアニメの世界なんだけどさ。

とか思っていた矢先。

「森野昂美か？」

突然かけられた女性の声。

振り返ってみるとそこには…

「…変な服ですね」

「最初に突っ込むところはそこか！？」

「じゃあ変な人ですね」

「このガキ……殴りたい……！」

プルプルと震える女性。

見たことはあるが直接見たことは無いし、話すのも始めてなんだけど…

「で、ただの一介の学生にどういった御用ですか、藤田プロ？」

「…落ち着け、私…」

んー、まあ単純に言うとな、あれだ。

一局打たないか？」

…何故！？

視点：藤田靖子

「部内勝率8割？」

風の噂で聞いたが、とある学校にそんな新入生の新人部員がいるらしい。

流石にガセだと思ったんだが、どうも本当だとのこと。

部員数は14人とあまり多くないとはいえ、勝率8割か…

名前は森野昂美。

基本的に忠実な麻雀にあわせて、時々不可解な打ち方をするらしい。

面子を崩したり、わざわざ単騎待ちにしたり。

それでいて相手のあがり牌は確実に止めるし、自分があがるときは殆どが満貫以上……。

ふうむ…興味が沸いて来たな。

幸いこの時期はプロアマ混合戦の事もあってそこそこ暇。

…打ってみるかな？

とりあえずあいつに電話だな。

「…あ、もしもし久保か？」

『福田か、一体何の用だ？』

私は牌譜とかを纏めなきゃならないんだけど』

電話をかけたのは久保貴子。

風越女子高校のOGにして麻雀部のコーチだ。

今年で地区予選3連覇の風越に貢献しているのは間違いないんだが…如何せん、ちよつと厳しい所があるからなあ。

『おい、聞いてる！？』

「おおすまんすまん、ちよつと考え事してた」

『はあ……で、いきなり何だ？言ったとおり私は……』

「まあちよつと聞いてくれ。」

お前の所の部員、トップランカーの勝率ってどれくらいだ？」

『トップ率のトップ？というところ……安達か。』

安達は……まあ4割前後だな。

あいつはいい打ち手だが、序盤から飛ばしすぎて自滅するときが……』

「ああすまん、ありがと。もついい」

『何なんだお前は……』。

まあいいが、なんでそんなのを聞きたがつたんだ？」

「これは例えはだが……そいつと下から11人選んだとして、10局やったら勝率6割越えると思うか？」

『……いや、どうだろう。』

ある程度運も絡むし、下から11人と一口に言っただって、ルールも役もわから無いような雑魚じゃあない。

ちゃんとそれなりには打てる奴らだし。

まあ4割……いつでも5割程度だろうな。

さつきから何だ？」

「……とある中学の新生がな、その麻雀部で勝率8割を誇っているそうだ。

男女学年全てあわせて、ね」

『な……っ！？』

絶句する久保。まあ当然か。

『……それはまさかとは思うが、他の生徒が弱すぎるという意味では

ないよな？』

「学校は高ノ原中学だ」

『普通に強豪校じゃないか！』

高ノ原中学校。

全国中学麻雀大会で、必ずと言っていいほど本選へと勝ち残るほどの強豪校。

部員数はさっきも言った通り10人前後とあまり多くない。

決勝こそ行けないことも多いが、個人でもチームでも相当な実力があることは間違いない。

『高ノ原部内で勝率8割……これは、今年の全中は高ノ原か？』

「かもしれないな。」

高校はどこに行くのか見物だが…本題はそれじゃない」

『ん？』

一呼吸置いて、続ける。

「そいつとちょっと打ってみたくてな、一緒にどうだ？」

『…はあ？』

少しの間無言。

『…打つのは別にいいが、どうして私だ？
他のプロでも常連の客でも何でもいいだろうに？』

「んー…まあ、何となくだな。

常連さん入れて打つのはなんか気分悪いし、プロ入れるのは流石に
まずいし…

そっちの生徒も一人連れて来れば？

年上ばかりとはいえ、ある程度年代近かったら話しやすいだろうし」

『…興味は、あるな。仕方ない、受ける事にするさ。

安達も連れていく。いい経験になるかもしれないしな』

「そーしろそーしろ、折角のチャンスだからな。

私は明日にでもその子を当たってみるさ」

『ああ、また電話してくれ』

「はいはい」

通話終了。

さて………実力を見せてくれよ？森野昂美………

えーと…私チート持ち？（後書き）

今回の…というか、前話の東3・4局の用語解説です。

・チー

自分の手の内に順子の元が2枚あり、相手がその端の牌を出した時、「チー」と宣言してその牌を貰う事が出来る。

あとはポンと同じく牌を晒して右に寄せ、手牌から1枚を捨てる。ポンと違うのは順子であること、また自分の1つ前の人からしかチー出来ないということ。

自分の反対側の人等からはチー出来ないので注意。

・リーチ棒

リーチ宣言をかけるには1000点棒を払う必要があるため、1000点以下しか残っていない場合は当然リーチをかけられない。

・一盃口

種類と数字が同じ順子を2つ作る役。1翻。

ポンチーミンカンすると無効。

例1：三三四四五??????東

三四五の順子が2つある。

この状態なら、一盃口が確定して東待ち。

平和・断公九・混一色・混全帯公九（後述）・混一色等、複合出来る役は多い。

狙えるなら狙うのもありだが他家に頼れないので、無理に行こうとしないこと。

・混全帯公九 チャンタ

色は何でもいいので、1・9・字牌を含んだ面子のみで上がる役。

面前2翻、食い下がり1翻。

断公九と作り方は似ているが、必然的に待ちが悪くなる。

しかし三色同順や混一色、役牌など、複合すれば高い手になりやすい。

例2：一二三九九???????東東

一二三、????、????の3面子が確定しており、九か東が出れば上がりが確定。

なおこの場合は三色同順が複合しており、更に東場か親番で東が出た場合は役牌も複合する。

・順子・刻子 シュンツ・コーツ

面子の種類。

順子は3枚の連続した並びの牌。

四五六、???、???等。

種類が違う場合は順子にならない。

四??、?八?、???等。

刻子は同じ牌を3枚揃えたもの。

???、白白白等。字牌は順子にならないので、必然的に刻子になる。

これも同じく種類が違うと駄目。

また、手牌の中で刻子を作る事を暗刻という。

・三暗刻 サンアンコ

その名の通り、暗刻を3つ作る事。2翻、食い下がり無し。

単体では難易度と比べて役数が少なく見えるが、他の役と非常に複合しやすく、必然得点が高くなる。

断公九や役牌は勿論、対々和や混一色等が複合すれば一発逆転も。

また、ドラが乗れば2翻の手が一瞬で倍満等になることも(三暗刻ドラ8を出した事はあるが…)

というか三暗刻だけであがるのは寧ろ難しいんじゃないだろうか…

・三連刻
サンレンコ

同じ種類で、連続した3つの数字の刻子を作る事。2翻、食い下がり無し。

三暗刻と違って鳴いてもいい。

しかし、普通の麻雀ならばこの役は採用されない。
所謂ローカル役である。

とはいえ、一部のネット麻雀や麻雀ゲームでならお目にかかる事も出来る。

個人的には普通の役でもいいのだが…

一盃口を消してまでわざわざ作る役でも無いということだろうか？

・役満
やくまん

作る難易度が高い一部の役を、倍満・三倍満の更にとして役満とする。

また役満でなくとも、あがった時に合計役数が13役以上の場合も「数え役満」という役満となる。

数え役満の例

二二三三三三三五六七八八 ドラ表示牌は二

この時点で、清一色・三暗刻・断公九・ドラ3。

リーチをかけてあがるか、鳴かずにツモあがりなら(6+2+1+

3+1)合計13役となり、役満となる。

なお2つの役満が複合することはあるが、数え役満はどの役満とも複合しない。

子の役満の場合ツモなら子8000・親16000、ロンなら32000点。

親の役満の場合ツモなら16000オール、ロンなら48000点と、一撃で勝負を決めてしまうような大打撃を与えることとなる。

役満が2つ以上複合した場合は、点数が役満の数に従って倍々になっていく。

・天和テンホー

自分の親番の配牌14枚で既に4面子1雀頭が確定している時、天和となる。役満。

役が無くても、4面子1雀頭さえ出来ていればいい。

…とはいえ、普通はまずお目にかかれない役。

一生に一度あがるかあがれないか、というレベルでの話となる。

…あんぎゃーすは3回ほど上がったことがあったりするのだが。

・四暗刻スーアンコ

その名の通り、面前で暗刻を4つ揃える事。

三暗刻に加え残りの4枚が雀頭2つとなり、更にツモあがりでのみ成立する。

どう足掻いても面前でしか出来ず、加えてツモでしか成立しないという難易度の高さを誇る。

とはいっても暗刻自体は制限が無い（何の牌でもいい）ので、役満の中では作りやすい方。

・清老頭チンロート

マンス・ピンス・ソウズの1と9のみで4面子1雀頭を作る役。鳴いてもいい。役満。

鳴いてもいいとはいえ順子が作れず、絶対に対々和の形になる。

また、使える牌はわずか24牌。

待ちも単騎かシャボ待ちにしかない。

前提条件が難しい変わりに、条件さえ揃えばわりと簡単に出来る役満でもある。

今回はあんぎゃーす…もとい、森野昂美のチート能力の発現でした。

「鰻って何？」という方は…「野性の闘牌 鰻」でニコニコ動画またはアンサイクロペディアで調べることがオススメです。

書くとなると物凄く長くなってしまつので……

対局、藤田プロ。(前書き)

K：またあんぎゃーすに脱衣麻雀で負けたし！
調子の悪いときですら勝てないってどういうことなの！

あ：いや、そんな事言われても…

K：あと音ゲーでも割と人間やめてるよね。

あ：お前は私を何だと思ってるの…

対局、藤田プロ。

視点：藤田靖子

あの後、どうにか対局の約束を取り付けた。

だが彼女も学生なので、流石に平日から雀荘で打つ訳にもいかない。

4日後の日曜日に某雀荘で打つことになった。

特別変なルールは無い。

面子は私と久保、久保が連れて来る生徒1人と森野だ。

対局の予定も無いし、一部の仕事をすれば残りは特に無い。

ふふふ…対局が楽しみだ。

あ、言い忘れていたが半荘2回で勝負するそうだ。

まあ実力を見るには妥当だろう。

視点：久保貴子

「よし、集合！」

今日の活動は終了だ！

各自自分の対局の牌譜を持ち帰り、反省点を書いて次の活動の時に

提出すること！いいな！？」

「『はいっ！』」

今年の新人は筋がいい。

2・3年も実力は伸びてるし、今年も全国への切符を掴んでくれると私は信じている。

まあそんなことは口が裂けても言わないのだが。

と、それより…。

「…あー、安達」

「？はい…」

あたちゆみ
安達裕美。

現在の風越麻雀部内トップランカーで、大会では中堅をつとめる。

基本的には腰が重く、満貫以上のあがりで相手にプレッシャーをかけていく。

時折ミスもするが、間違いなく今の風越の最強だろう。

…まあ、本人にそんなことを言ったりはしないが。

「お前、日曜日は何か予定は入っているか？」

「いえ、特には無いですが……」

私の質問の意味を計り兼ねているようだ……

まあ、今回は特に損は無いことだ。

「日曜日に私と藤田靖子プロとで対局の予定を取り付けている。まあ藤田プロは別の目的もあるようだ……」

4人打ちだが、私と藤田プロ、それに藤田プロが連れて来る1人をあわせても3人だ。

残りの1人にお前を推薦した所、快くOKをいただいた」

「え……ということは……」

「詳細な時間は本決まりでは無いが、本物のプロと対局が出来る。楽しみにしておけ」

「っはい！」

「ああついでに、小野・浜崎・寶田・八戸の四人はその対局の見学だ。」

都合が悪ければいいが、特に用事が無ければ来る事！いいな！」

「……はいつ！」「……」

まあ特に何かある訳でも無く順調に日々は過ぎていく。

そして迎えた対局当日。

「コーチ！こんにちわー！」

「ん？おお、5人とも来たか…」

藤田プロはまだ来てないからな、適当に時間を潰してろー」

「『『『『』はいつ！』『』『』『』」

因みに校内ランクは、

安達 1位

小野 8位

浜崎 15位

寶田 59位

八戸 34位

だ。

まあその時の運によっても左右されるけどな。

さて、約束の時間までは後30分近いが…

「よっ」

…いや、早えよ。

「藤田か、久しぶりだな？」

「まあお互い色々忙しいしな。

あの子は昼飯を食べてから来るそうだ。

全くプロと打つ前だっていうのに、中学生が図太い神経してるよ」

「違いないな」

そう言つて2人で笑い合う。

「あ、あのおー……」

「ん？おお、戻つてたか。」

こちら、藤田靖子プロだ。

安達、お前はこれからこの人と打つんだからな？」

「はっはい！私、安達裕美と言います！

麻雀では手を抜きませんが、よろしくお願いします！」

「おお、久保が言つてた校内ランク1位の子か。

私も手を抜くことは無いから安心しな」

そう言つて握手を交わす藤田と安達。

……一応私も打つ事になつてるんだけどな。

「んー……久保、先に雀荘に行つてるか？

まだあの子が来るまで少し時間はかかるだろうし。

東風戦一局くらい打てるだろ」

「……昼飯は既に食べ終わつてるからな、それでいいかもな。
お前ら、行くぞー」

「「「「「はいつ！」「」「」」」」

5人を連れてとある雀荘へ。

雀荘といっても煙草の匂いのするような場所ではなく、どちらかといえは喫茶店に近いような綺麗な場所。

禁煙だし酒も無いし、休日には学生がつるんでやってくるような場所だ。

今日はそのうちの一卓を貸し切りになっているらしい。

全く、プロとしての名前の無駄遣いだろうに。

「じゃあ、寶田は見学。

残りの4人で東風戦。

ルールは…ありありの赤あり、二翻しばかりだ。
よし、始める」

「……よろしく願います！」「」「」

視点：藤田靖子

…さて、あいつらは行ったな。

駅から徒歩5分の雀荘としては、中々良い所だからな。

この辺りに来た時はよくあそこで打つ。軽食も美味しいな。

さて、多分あの子が来るまで時間は少しかかるだろうし…

…暇だ。仕方がない、煙管を吹かして待つとするか……

(30分経過…)

「こんにちわー」

「よう、来たか。」

予想外にこっちが呼んだ面子が早くてな、先に行ってもう打ってるよ。

もう行くか？」

「それじゃあ、是非」

ようやくやってきた森野は高ノ森中学の制服ではなく、ジーンズに長袖Tシャツにパーカーというラフな格好。

中学1年生にしては高い身長もあって、どうも18やそこらに見えてしまう。

いや、18だったら小さい方か？…いいか、面倒だ。

「そつえば、一緒に打つ人っていうのは？」

「ん？ああ、言ってなかったな。」

私の友達で、ある高校の麻雀部のコーチやってる奴と、その教え子

だ。

まあ気楽にやれば良いさ」

「はあ……」

とか言ってる内に雀荘に到着。

それにしても森野って苗字、凄い聞き覚えがあるんだよな。

そんなに珍しい苗字でも無いし、偶然だと思うけど。

「お、やってるやってる」

店に入ると、早速久保の生徒4人が打ち合っていた。

「あ、それロン！立直平和断公九ドラ1、安目だけど7700！私の連荘ね！」

「うわ、まずっ！私ビリじゃん！

高目振らなかつただけでもマシとしなきゃ…絶対取り戻す！」

さすがに久保も、他のお客さん達がいる中じゃあ強くは言わないよ
うだ。

今は東3局、トップは12000差で安達か。

やはり校内ランクトップは伊達ではないようだ。

「ロン！対々和南ドラ3で跳満！」

「うつ…」

一人沈んだか。3位の子が2位に浮上してトップと6700差。まだわからないが安達の親番……。

「ツモ！立直ツモ断公九で2600オール！親のあがりやめできっちりトップです！」

「「「うわぁー！」「」」

結局は安達の逃げ切りか、やはり実力はあるようだけど。

でもま、部内での麻雀とプロとの麻雀は違っているのを教えてやらないとな……。

「ああ、来てたか藤田。その子が例の？」

「ああ、電話で話した子だ。

さ、細かいことは抜きにして、早速打とうか？」

「あ、はい！よろしくお願いします！安達裕美と言います！」

「よろしくお願いします、森野昂美です」

…高3がキョドって中1が落ち着き払っているのを見ると、どうもなあ。

私と3人が席につき、親決め。

親は……安達からか。

さて、お手並み拝見と行こうか。

東家… 安達裕美、 25000点、親。

南家… 久保貴子、 25000点。

西家… 藤田靖子、 25000点。

北家… 森野昂美、 25000点。

<Side 寶田>

あ、始めましたね。

私はコーチの後ろで見学させてもらいます。

半荘2回、でも、学べることは多いはず！

コーチの配牌は……？

六七八????? 東東西西中

うーん… 678の三色と、場風の東くらい？

ドラは八だから、鳴けば3900、面前なら7700かな？

第一ツモは？……微妙……ここは中外しかな？

出したのは……?? 数牌は残さないの？

そりゃあ確かに中は出てないけど…

他の人は……安達さんはオタ風の対子落とし、藤田プロは撥白、森野ちゃん（私高2だから5つ年下だよな？何か大人びてるけど……ちゃん付けでいいよね？）は八九落とし。

皆断公九の方へと行くのかな？

次ツモは…東！やった、風牌暗刻！

中切りでテンパイだけど、ここでリーチじゃあペンチャン待ちで東のみ…流石にそれは無いよね。

もう少し伸ばしたいけど……

そこから4巡は、？三？？と無駄ツモ。他の人は手出しが2回くらいで、多分手が進んできてる。

そして次に引いたのは…九！？こ、これはもしかしてチャンタ三色が入るかも！？

次ツモは…？？！！噓、凄い！

「リーチだ」

リーチ棒を置き、？を横にして置く。あがれば跳満、ツモれば倍満！

そして？？南八と引いたその次。

「む？慣！」

引いたのは東。これでドラが増えた！

「ツモだ。立直ツモ東三色チャンタドラ1、裏は…1つ、2つ足りないか。

子の倍満は4000・8000だな」

「う…」

親だった安達先輩は8000点の損失。

東1局でこれはかなり痛い…。

……ん？森野ちゃんの後ろで見てた小野が…何か、凄い顔してるけど、どうしたんだろう？

まあいいや、後で聞きに行こう。

視点：浜崎

あ、私の番？

私は安達先輩の手を見させてもらっています。

コーチにあがられた時、実は先輩は平和断公九をテンパっていたんですが…コーチのほうで1枚上手でしたね。

さて、先輩の次の配牌は……？

四四?????????白

ドラは？…

どうだろう？テンパイまでは早そうだけど…断公九に三色同刻はつくかな？

つけば断公九三色同刻ドラ1で、多分満貫かな？

さて、第1ツモは……白！おお、いいツモ！

切ったのは？。

コーチは九、藤田プロは南、森野ちゃんは？。

むう、森野ちゃんの打ち筋がよくわからない。

最初からいきなりドラ傍の断公九牌打つし、どういう事なんだろう…。チャンタ系狙いかな？

あ。

「ポン」

白が出たのでこれをポン。

切るのは…？か、対々和三色狙いかな？

次は…？。？を切ればテンパイだけど…。

ツモ切り。もう少し高い手が狙えるんだし、まあ当然かもね。

あと2牌有効牌が来ればいいんだけど…。

「ポン」

四をポン。三色同刻への一歩だね。

？切り。これであと1つ…。

その後、4つ無駄ツモ。

コーチがリーチをかけた。

捨て牌はピンズ・ソウズが多いので、混一色か清一色だと思うけど。

マンズで出ているのは二と七。

間四軒で、危ないのは三と六かな？

次のツモは…ドラの？だ！これで対子になった、しかも？？待ちのテンパイ！

？が出れば三色同刻がつくし、？なら単純にドラが増える。

？切り。藤田プロはオリ気配、森野ちゃんはチャンタかな？

コーチが切ったのは？。

安達先輩がツモったのは九。

公九牌だから森野ちゃんに厳しいけど、どうする？

「…ここは勝負っ！」

九を切った！どうなの……？

「…（クス）はい、当たりませんよ。セーフです。
久保さんはどうですか？」

「私もハズレだ。よく切ったな……」

おおっ、やった！先輩凄い！

「それじゃあ折角なので…、はい。安目ですが、これが当たりですよね？」

森野ちゃんが出したのは…?!?

「…ロン。白対々和ドラ3。6翻だから跳満です。
子だから12000点…」

「はい」

点棒を渡す森野ちゃん。

東2局での点数は…

久保貴子	41000点
安達裕美	39000点
藤田靖子	21000点
森野昂美	9000点

か。

森野ちゃんの一人沈みだけど…どうするんだろう？

対局、藤田プロ。（後書き）

用語解説。

・対々和
トイトイホー

手役を4つの刻子と頭1つで作る役。

2翻で食い下がり無し。

簡単に言くと、鳴いた四暗刻。

同じ牌を集めればいいので、初心者は好む。

順子関連の役とは複合しないが、ドラが乗ればかなりの大物手になる。

・無駄ツモ

自分の手が進まないツモ。

例：??????????????東東

この場合はピンズの混一色手なので、マンズやソウズが来ても無駄ツモとなる。

・手出し

ツモった牌をそのまま捨てるのではなく、ツモった牌と手牌を入れ替える事。

これをするということはそのツモ牌は無駄ツモではなく、手が進んだということである。

大体は4〜5回ほど手出しならテンパイくらい。

サンショクドウコー・サンショクドウボン
・三色同刻

三色同順と同じように、同じ数字の刻子を三色で揃えること。

食い下がり無しの2翻役だが、出来ることは稀。

作るのであれば、同数異色の牌が最低でも6枚は欲しい。

・間四件 あいだよんけん

相手の待ち牌の読み方。

両面待ちの場合、待ちは6種類しかない。

1 4、2 5、3 6、4 7、5 8、6 9 だけ。

その中で捨て牌に1と6がある場合、その間である3 4 持ちの2 5 待ちの事が多い。

勿論シャボ待ちやカンチャンペンチャン待ちもあるので、過信は禁物。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1050r/>

あんぎゃーすにチート能力つけて異世界に送ってみた。

2011年8月26日17時49分発行